大島管内の遺伝資源の収集・評価・保存

【研究概要】

ブバルディアの優良系統の選抜や新品種の特性評価を行うとともに、安定生産に向けた栽培技術の確立に取り組む。

（１）第４期候補２系統の現地栽培試験を継続したが、「15P305-27」は初期生育のばらつきが大きく、「15P413-12」は狂い咲きが発生したため、十分な評価を行うことができなかった。

（２）ブバルディア第１期３品種について、整枝方法や株間を変更した場合の切花品質を調査したところ、現地慣行栽培と比較して大きな差は認められなかった。

（３）第３期品種のシェード期間を検討した結果、「オーロラ」では春期・夏期とも 21 日、「フラミンゴ」では春期７日、夏期 14 日が適すると考えられた。また、「フラミンゴ」では夏期に奇形花の発生が多くなる傾向が確認された。